

# 「2021年度秋季研究発表大会」のお知らせ

更新：2021/8/23（要旨投稿締切1週間延長・改訂版学会規程等掲載・パネリスト及び同題目の更新）  
2021/9/16（パネリストの更新、「協賛」団体の掲載、P2M セミナー動画の更新掲載）

## 第32回 国際P2M学会 研究発表大会 The 32nd Congress of International P2M Association

### 「オープンでアジャイルなイノベーションマネジメントとP2M」

2021年度の国際P2M学会秋季研究発表大会を、下記の要領にて開催いたします。大会テーマは、「オープンでアジャイルなイノベーションマネジメントとP2M」です。つきましては、会員の皆様の研究発表を募集いたします。発表ご希望の会員は、今後ご案内する申し込み要領をご参照のうえ、期限までにお申し込みください。

なお、本大会はオンラインのWeb形式にて開催いたします。遠方の方でもご自宅やご勤務先からご参加いただけますので、ぜひこの機会をご利用いただければ幸いです。

#### 1. 大会テーマ

「オープンでアジャイルなイノベーションマネジメントとP2M」

#### 2. 開催日・形式

開催日 : 2021年10月24日（日）

開催校 : 北陸先端科学技術大学院大学

〒923-1292 石川県能美市旭台1-1（本校）

〒920-0853 石川県金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢9F

（金沢駅前オフィス）

〒108-6019 東京都港区港南2-15-品川インターシティA棟19F

（東京サテライト）

開催形式 : 午前の部（研究発表） オンデマンド配信

午後の部（基調講演とパネルディスカッション） リアルタイム配信

※インターネットに接続可能なパソコンやタブレットPC、スマートフォン等からご参加いただけます。

発表方法や参加方法の詳細は、決定次第本学会のHP上に掲載します。

#### 3. 開催団体に関する情報

主催 : 一般社団法人 国際P2M学会（※）

共催 : 北陸先端科学技術大学院大学

会長 : 国際P2M学会会長 山本秀男

実行委員長 : 北陸先端科学技術大学院大学 副学長・東京サテライト長・教授 内平直志

実行副委員長 : 第一工科大学工学部情報電子システム工学科教授 三宅由美子

協賛（五十音順）：アジャイルプロセス協議会  
一般財団法人 エンジニアリング協会  
一般社団法人 情報サービス産業協会  
日本 MOT 学会  
一般財団法人 日本科学技術連盟  
日本 SPI コンソーシアム  
一般社団法人 日本生産管理学会  
特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会  
一般社団法人 PMI 日本支部

※一般社団法人 国際P2M学会：国際P2M学会事務局 〒162-0801東京都新宿区山吹町358-5  
アカデミーセンター(平日：10時～17時) TEL: 03-6824-9371/FAX:03-5227-8631

#### 4. 大会要旨

デジタルテクノロジーを用いたさまざまな変革は、社会のあらゆる場面に押し寄せていますが、企業による研究開発、製品開発もその例外ではありません。製造業では 2011 年にドイツ政府が「インダストリー4.0」という構想を発表し注目を集めました。そのキーワードや考え方は今や目新しいものではなく「デジタルトランスフォーメーション（DX）」という概念の中に含まれ、更に発展を続けていると言えましょう。そのような中、技術開発、製品開発の「マネジメント」のあり方も、変化を続けています。

デジタル変革時代の研究開発や新製品・サービス開発では、試行錯誤を繰り返しながら新しい価値を創造し、誰よりも早くその価値を提供することが、企業や組織の競争優位の源泉になることが、広く認知されるようになってきました。そしてその実行のためには、外部のリソースを活用して迅速性を重視する「オープン・イノベーション」や、市場との対話と試行錯誤を重視する「アジャイル・イノベーション」をいかに的確にマネジメントするかが重要になると考えられます。しかし、そのマネジメントの方法論は十分に確立していないと考えられます。

本大会ではこのような問題意識の下で、P2M の視点からアジャイル・イノベーションやオープン・イノベーションのマネジメントに関して、その望ましいあり方について、製造業、ソフトウェア、研究開発、公的な研究開発などの分野より識者をお招きし、幅広く議論をします。なお、ここでのアジャイル・イノベーションは、ソフトウェアのアジャイル開発プロセスだけでなく、イノベーションとしての研究開発や新製品・サービス開発のプロセスが対象と考えます。

以上のとおり、「オープンでアジャイルなイノベーションマネジメントと P2M」をテーマに、皆様と議論していきたいと思えます。多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。

#### 5. 大会スケジュール： ※ 都合により、変更される場合があります。

**(1) 研究発表の部（オンデマンド配信）** ※発表プログラムは暫定版を9月下旬までに、最終版を10月上旬以降に学会ホームページ上に掲載します。

10月24日（日）～11月23日（月）：発表予稿・動画・質問&コメント・回答の閲覧期間

10月24日（日）～11月2日（火）：発表者への質問&コメント受付期間

10月24日（日）～11月8日（月）：発表者から質問者への回答受付期間

#### **(2) 講演の部（ライブ配信）**

13:00 - 13:20 開会挨拶 山本秀男 氏（国際 P2M 学会会長）

開催校挨拶 内平直志 氏

(北陸先端科学技術大学院大学 副学長・東京サテライト長・教授)

13:20 - 14:20 基調講演「総合化学メーカーにおけるグローバルオープンイノベーション

～具体例をもとにプロジェクトマネジメントでの課題を語る～」

岡本 敏 氏 (住友化学株式会社 技術・研究企画部 (東京本社) 担当部長)

14:20 - 14:40 休憩

14:40 - 16:30 パネルディスカッション「オープンでアジャイルなイノベーションマネジメントと P2M」

モデレータ: 内平直志 氏 (北陸先端科学技術大学院大学 副学長・東京サテライト長・教授)

パネリスト (順不同) :

岡本 敏 氏 (住友化学株式会社 技術・研究企画部 (東京本社) 担当部長)

相澤宏行 氏 (株式会社東芝 CPS×デザイン部 CPS 戦略室 エキスパート)

「大企業におけるオープン・イノベーションのマネジメント

～Startup 連携による事業仮説のアジャイルな検証の試み～」

大島将義 氏 (株式会社リクルート プロダクト総括本部 Division Officer)

「インターネットサービスにおけるアジャイルの位置づけ」

齋藤輝明 氏

(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構総務部経営企画室主幹)

「公的な研究開発プロジェクトマネジメントにおけるオープン性・アジャイル性」

小島秀藏 氏

(日揮ホールディングス株式会社サステナビリティ協創部オープンイノベーションチームリーダー)

「エンジニアリング企業のトランスフォーメーション

～EPC プロジェクトマネジメントからの転換の必要性～」

久保裕史 氏 (国際 P2M 学会副会長)

「イノベーションを産み出すオープンでアジャイルな P2M の課題」

16:30 - 16:40 閉会挨拶 亀山秀雄 氏 (国際 P2M 学会副会長)

## 6. 研究発表大会参加費関連

◆ 大会参加費 : 今大会の参加費支払いは 全て事前振込みのみにて受け付けます。

下記学会の銀行口座宛にお振込下さい。(振込最終締切: 2021 年 10 月 15 日 (金))

10 月 16 日以降は、参加申込ならびに参加費振込の受付は致しません。

また、10 月 15 日迄に未振込の場合は、投稿論文を予稿集に掲載致しません。

	早期割引参加費 (10 月 6 日まで)	参加費 (10 月 7 日～10 月 15 日)
会員 : 正会員、法人会員に所属の方	: 8,000 円	9,000 円
: 学生会員	: 2,000 円	3,000 円
非会員 : 社会人、社会人学生	: 10,000 円	11,000 円
: 学生、大学院生	: 4,000 円	5,000 円

※予稿の筆頭著者（当日の発表者）は、国際 P2M 学会会員に限られます。当学会に未加入の方は、遅くとも 2021 年 9 月 20 日（月）までに入会手続きを済ませてください。新規入会には、上記参加費とは別に、正会員が 12,000 円（入会金 2,000 円、年会費 10,000 円。社会人学生を含みます）、学生会員が 6,000 円（入会金 1,000 円、年会費 5,000 円）、必要となります。

尚、入会費の振込み先は ホームページ及び入会申請フォームに記載の「ゆうちょ」口座です。大会参加費振込口座とは異なりますのでご注意ください。

入会手続きの詳細は、学会ホームページから、こちらをご覧ください

→ <http://iap2m.org/accept>

◆ 講演の部（ライブ配信 13:00～16:20）のみの参加費：学会員、非会員とも：3,000 円

◆ 大会参加費振込み先銀行口座：

三井住友銀行（銀行コード：0009）

飯田橋支店（店番号：888）

普通預金（口座番号：7098073）

口座名義（一般社団法人 国際 P2M 学会）

※大会参加申し込み Web 画面で「領収書 ●必要」を選択した方には、大会開催後、領収書（PDF）をメールで送付いたします。

◆ 留意事項

※ 振込済みの参加費は、不参加の場合でも返金できません。

## 7. 参加申し込み方法

◆ 参加申込期限：

論文投稿者 9 月 20 日（月）迄に申込み登録を済ませてください。

大会参加のみの方：参加費振込の最終締切 10 月 15 日（金）迄に申込登録を済ませてください。

◆ 研究発表大会参加申込みはこちらから（注. 発表者も、申込み登録が必要です）

[http://www.iap2m.org/regist\\_taikai.html](http://www.iap2m.org/regist_taikai.html)

◆ 参加登録に関する参考情報

ブラウザが Internet Explorer の場合、バージョンが新しいと無応答になる場合があります。

次の操作を参考にしてください。<http://www.iap2m.org/pdf/ie201309.pdf>

## 8. 発表者への要旨と予稿の投稿、及び発表動画登録に関するご案内

◆ 要旨の投稿期限及び方法：これに基づく研究発表プログラムは別に掲載します。

投稿期限：2021 年 9 月 6 日（月）24 時（厳守）：締め切りました

投稿方法：要旨は、次の URL から、web 登録画面に従い入力して下さい。

[http://www.iap2m.org/regist\\_smallcongress.html](http://www.iap2m.org/regist_smallcongress.html)

査読選択：予稿論文の審査を希望される方は、査読希望「●有」を画面上で選択してください。

尚、採択後の論文の学会誌掲載料は 30,000 円です。

スライド形式のみの予稿も歓迎します。但し、その場合、査読は選択できません。

◆ 発表予稿投稿期限：2021年9月20日（月）24時（厳守 ※締切後の投稿は一切受け付けられません。  
投稿方法：要旨投稿時に登録されたメールアドレス宛に、後日、編集委員から「予稿投稿方法」に関するメールが届きます。それに従い、MS-Word および PDF 形式の予稿を投稿してください。

◆ 発表用動画と聴講者質問への回答入力の期限及び方法

動画入力期限：2021年10月4日（月）24時（厳守） ※締切後の入力は一切受け付けられません。

質問回答期限：聴講者からの質問（受付期間10月24日（日）～11月2日（火））に対する回答は、11月8日（月）24時まで、後日、学会担当者から指定された URL に入力して下さい。

動画入力方法：要旨投稿時に登録されたメールアドレス宛に、後日、学会担当者から「動画入力方法」に関するメールが届きます。それに従い発表動画（※）を作成し、指定 URL に入力してください。※ パワーポイント(2010以降)で録音後、ビデオファイル（mp4形式、10～20分）作成。

引用文献・図表等は、著作権法第32条に基づき、発表者の責任で対応願います。

◆ 受付メール確認のお願い

要旨及び予稿投稿後各1週間以内に、編集委員より受付メールを登録アドレス宛に送信します。

なお「(at)iap2m.org ((at)を@に読みかえてください。）」のドメインから届くメールが、迷惑メールフォルダに入らないように設定してください。万が一、着信しなかった場合は、下記学会事務局宛にお問い合わせ下さい。

国際 P2M 学会事務局 <http://iap2m.org/con-2/>

◆ 査読を希望される方へ：

査読論文：当学会では、予稿が査読論文として審査されます。

ただし、発表された（発表動画が提出された）論文に限ります。

頁数：最大20ページ

論文形式：本学会 HP「学会論文関連情報」（下記 URL）にある規程等（「学会論文投稿規程」、「学会論文投稿規程補足」、「著作権規程」）を遵守してください。合わせて「学会論文審査規程」についてもご確認ください。これらは2021年8月7日に新たに掲載されたものであり、従来のものより改訂されていますので、必ず確認いただくようお願いします。

また「書式サンプル」も下記 URL に掲載されていますので、ご活用ください。

学会論文関連情報：<http://iap2m.org/ronbun-info/>

補足：（1）予稿集に掲載された論文は、辞退などにより発表されなかった場合も、同じ内容では再投稿はできません。

（2）予稿に P2M との関連性と関連参考文献を明記願います。

当学会の過去の論文誌は、J-stage から閲覧できます（最新号は会員のみ閲覧可）。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/iappmjour/-char/ja>

（3）論文執筆経験が浅い方は、次のリンクにある Youtube「IAP2M チャンネル」にある P2M の基礎知識、事例による P2M の理解、論文の書き方に関する動画を視聴するほか、学術論文作成経験者から論文作成の指導を受けることをお勧めします。

<https://www.youtube.com/channel/UCeBCLQNhDeNAPbaYVi7EfuA>

英文の要旨（または英文本文）は、可能な限り英文としての品質向上に努めて下さい。

◆ 発表奨励賞：各発表分野別に受賞者を選出し 11 月中旬に学会ホームページ上に掲載し表彰します。

## 9. P2M セミナー動画の更新、掲載

国際 P2M 学会では、P2M の基礎知識や適用事例を知りたい方、本分野での研究発表や論文投稿経験の浅い方のために、これらを本学会ベテラン講師陣が分かりやすく解説した次のセミナー動画（YouTube）を作成しています。

今般、これまで掲載されていたものに加えて、次の二つの動画を追加しました。

「プログラムマネジメントの概要 – 企業経営とプロジェクトの事例から–」 武富為嗣 評議員会議長

「P2M に関する FAQ」 山本秀男 会長

詳しくは、次のリンクをご参照ください。

<http://iap2m.org/youtube/>

10. お問合せ先：国際 P2M 学会事務局 <http://iap2m.org/con-2/>